

**復興支援住宅エコポイント事業/住宅エコポイント事業
環境寄附対象団体 事業報告書**

事業者コード	k024	報告日	2014/3/28	
団体名	(社)大阪南太平洋協会	報告者 (役職・氏名)	事務局長 濱崎三枝子	
連絡先 (電話/メール)	06-6376-1151/info@aspa-osaka.com	活動ホームページ (URL)	http://www.aspa-osaka.com	
対象分野	<input checked="" type="radio"/> a. 地球温暖化防止 <input type="radio"/> b. リサイクル・廃棄物対策 <input type="radio"/> c. 自然保護・生物多様性保全 <input type="radio"/> d. 森林の保全・緑化 <input type="radio"/> e. 大気・水・土壤環境の保全、化学物質対策 <input type="radio"/> f. 環境教育・人材育成 <input type="radio"/> g. グリーン購入 <input type="radio"/> h. 助成・トラストを行う団体 <input type="radio"/> j. カーボン・オフセットなどの事業・プロジェクト (登録されている対象分野を選択してください)			
事業・プロジェクト名	小規模クリーンエネルギー供給装置援助及びエコ住宅建設指導事業			
環境寄附対象期間	平成24年5月振込分 から 平成25年4月振込分 まで			
寄附額	■ポイント取得者からの環境寄附:		¥18,724	
	■交換商品提供事業者からの環境寄附(個別指定を受けた寄附):		¥0	
	■交換商品提供事業者からの環境寄附(全団体に均等配分された寄附):		¥38,535	
	合計:		¥57,259	
当初想定 の環境寄附 の 使い途	寄附金額	寄附額1 (円以上) 100	寄附額2 (円以下) ~ 2,000,000 寄附額1から2の 使い途	装置導入に向けての調査研究費として、援助依頼のある地域で供給調査を行います。
		寄附額3 (円以上) 1,000,000	寄附額4 (円以下) ~ 2,000,000 寄附額3から4の 使い途	専門家及び技師の現地派遣費用及び両国の若者育成費です。
		寄附額5 (円以上) 6,000,000	寄附額5の 使い途	水力・太陽光パネル・風力発電装置1基及び設置費用とエコ住宅建設に伴う資材及び備品・道具購入費です。
実際の 環境寄附の 使い途 (使用対象 及び成果等)	環境寄附をどのような活動内容に充てたのか、400字程度にまとめてご記入ください。 また、環境寄附の使用対象を明確にし、できる限りその使用対象への成果を明示してください。 ※カタログ等で公開されている当初想定「環境寄附の使い途」に沿った活動に関する報告をお願いします。 ※別紙「記入例」を参考の上(概要)、(使途)、(効果)を記入ください。 ※寄附額毎に異なる使い途を設定されている場合は、それぞれの活動内容をご記入ください。 ※寄附金の使用内訳を明確に記入いただき、次年度繰越金などある場合は必ずご記入ください。 (概要) 1997年、パプアニューギニアアイタペ津波被災地へ救援隊派遣後、活動拠点のソワム村(約300人)にボランティア行動隊を派遣し、小型太陽光・風力クリーンエネルギー供給装置設置・地産地消を温暖化防止の重点課題と捉え、現地材を使った自作コミュニティーハウス(集会所)建築の指導を行っています。また今年度から、炭プロジェクトとして、環境保全、CO2排出削減に一助となる自作エコ燃料としての炭の活用を実践指導をしています。(使途)この度のご寄付、57,259円は、若者育成事業として2013年9月14日に派遣した第12次PNGソワム村支援行動隊(専門家及び技師等計6名)の自作住宅建設指導及び炭焼窯製造に要する資材費用の一部として活用させていただきました。ソワム村では前年に続き、住宅設計指導を行い、加えて本年はソワム村とパラマナ村にて炭焼指導を行いました。(成果)昨年度に引き続き、「ドリームハウス」詳細図をソワム村の若者10名が完成させました。またドラム缶炭焼指導は、パラマナ村の村人約40名が2日間で2連窯製造、炭焼実働4回、ソワム村では約20名が1連窯製造、炭焼4回実働しました。両村の女性達は放置材が燃料となり、浄水効果とまた煙のない調理となるこの炭活用指導は、大歓迎されました。帰国後、駐日ガブリエル大使に報告したところ、パプアニューギニア全土にドラム缶炭焼工法を広めてほしいとの要請があり、来年度も継続することとなっています。			